



## NEWS RELEASE

# 地域生団連 第二弾 「大阪生団連」が発足しました

生団連（国民生活産業・消費者団体連合会）（本部：東京都港区、会長：小川 賢太郎）は、5月27日、「埼玉県生団連」に続く「地域生団連」の第二弾として、「大阪生団連」発足会を開催いたしました。



生団連は「国民の生活・生命を守る」という使命のもと、500を超える企業、業界団体、消費者団体、NPO等が結束し、日本で初めて設立された「国民団体」です。

2011年の発足以降、生活者視点での精力的な活動を続けてまいりましたが、より生活者に近い立場で具体課題にフォーカスした議論を行い、政策提言を実現させていくための次のステージとして、地域生団連の立ち上げを開始しました。「大阪生団連」の発足は、昨年7月発足の「埼玉県生団連」に続く「地域生団連」の第二弾となります。

生団連の小川賢太郎会長は冒頭の挨拶にて、「大阪を活性化し、そして日本を活性化させるために、大阪生団連を是非活用いただきたい。」と大阪生団連への期待を熱く語られました。



▲ 生団連 小川会長



## 【会長、副会長挨拶】



「生団連は弱きものの声を聴く国民のための団体です。大阪は商人の町であり、中小事業者も多い。皆さんで助け合いながら力を合わせて大阪を盛り上げ、日本の活性化に貢献したいと思います。」

▲山口会長  
(堺市消費生活協議会 会長)



「日本ハム株式会社の本社を大阪に移転して60年となります。お世話になっている大阪の皆さまに恩返しをしたいと考えております。大阪生団連会員の皆様とパートナーシップを築き、様々な社会課題の解決に貢献したいです。」

▲畑副会長  
(日本ハム株式会社 代表取締役社長)

## 【来賓祝辞】

来賓祝辞の冒頭には、自由民主党幹事長茂木敏充衆議院議員よりいただきましたビデオメッセージを紹介しました。

「生団連の政策提言や啓蒙活動に感謝しています。露軍ウクライナ侵攻を受けての食料値上がりなどが発生し、今まさに生団連の存在意義が問われています。生団連は昨年10周年を迎え、地域生団連発足でより一層国民に身近な団体として発展していく事、とても頼もしく感じています。大阪生団連が「商人の町」大阪の発展に大きく貢献することに期待しています。」



▲自由民主党 茂木幹事長  
(ビデオメッセージ)



▲大阪府副知事  
山口信彦様

▲堺市副市長  
島田憲明様

▲全商連最高顧問  
辰野邦次様

▲自由民主党  
松川るい様

▲公明党  
石川ひろたか様

▲日本維新の会  
高木かおり様

ご来賓を代表して大阪府山口信彦副知事、堺市島田憲明副市長、全国商店街振興組合連合会辰野邦次最高顧問、自由民主党松川るい参議院議員、公明党石川ひろたか参議院議員、日本維新の会高木かおり参議院議員より温かいご祝辞を頂戴しました。当日は衆議院にて臨時国会が開催となり、ご来賓の方々の予定が大きく変更となりましたが、そのような中でも、多くの国会議員、市議会議員の皆様にご臨席賜りました。

## 【記念講演】

### 『生活に織り込まれる人工知能と私たちの未来』

板津 木綿子 (いたつ・ゆうこ)様  
東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授  
東京大学Beyond AI研究推進機構 基礎研究「B'AIグローバルフォーラム: AI時代における真のジェンダー平等社会の実現とマイノリティの権利保障のための規範・倫理・実践研究」アソシエート ディレクター



▲板津木綿子教授

国民生活産業・消費者団体連合会（生団連）広報担当 小坂まで

〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階

TEL: (03) 6833-0493 / FAX: (03) 6833-0494 E-mail: jim@seidanren.jp